

平成27年度さぬき市行政評価報告書

平成27年11月24日

さぬき市行政評価委員会

平成27年度の行政評価を振り返って

事務事業外部評価4年目となる本年度は、委員7名の意見を基に、総務部所管の3事業、市民部2事業、健康福祉部2事業、建設経済部2事業及び教育委員会から3事業、合わせて12の事業を選択して評価を行いました。これまでは、職員自らの自己評価を補完する意味合いが強い行政評価ではありましたが、今年度は、評価結果を当初予算査定時に活用するための取組として、外部評価対象候補事業を、政策課予算調整室と連携して選別したり、事業所管課との丁寧な質疑応答に基づく評価の実施を目指して、1事業当たりの所要時間を30分間(事業説明10分、質疑応答15分、評価シート記入5分)から40分間(事業説明5分、質疑応答30分、評価シート記入5分)に変更するなど、評価業務の改善を試みました。

評価を終えた全体的感想としては、昨年度よりも一段と、事前質問に対する回答、当日の質疑応答ともにスムーズになってきたように感じられました。ただ、総じて、職員の、職務に対する積極性が少なくなっているように感じました。既存事業を継続することで精一杯で、新規事業にチャレンジできないようでは、市の発展は望めないと思います。

それでは、以下、各事業の評価を通して各委員から寄せられた主な意見を列挙します。

1点目は、広報機能の充実です。これは昨年度も指摘していますが、行政情報や観光情報など、市の魅力を市内外に向けて発信することは、本市で取り組んでいる人口減少対策にも大きな影響を及ぼすと言っても過言ではないと思いますので、再度指摘いたします。人員と予算不足が続いているようですが、現状維持を良しとするのではなく、誰に、何を、どの媒体で伝えるべきか、ホームページのトップページは真に検索しやすい構成になっているか、コミュニティ放送との相乗効果は図れないのかなど、市の広報戦略を検討し、広報紙やホームページの見直しはもとより、高度に発展しているICTを活用した新たな広報活動にも早急に取り組むべきだと考えます。

2点目は、部署間の連携の強化です。これは平成25年度より指摘していますが、今年度は、他の部署との連携を模索しようとする動きも感じられました。しかしながら、1つの目的に向かって所属の垣根を超えて取り組むことで相乗効果を生み、費用対効果を高める可能性がある事業分野は数多くあると思いますので、来年度以降の新たな取組に期待します。合わせて、所属間の連携促進を専門とする組織の設置も検討いただきたいと思います。

最後になりますが、市の定員適正化計画を上回るスピードで正規職員が減少する中、公助への期待は衰えることなく、業務は多種多様に増え続けています。また、平成30年度以降は合併特例措置がなくなるため、普通交付税が大幅に減少し、合併特例債の発行もできなくなるため、収支悪化による財政の硬直化が更に進むことが予想されています。このような中、市民満足度の高い行財政運営を実現するためには、事務事業を見直す大胆な決断が必要であり、そのためにも、行政評価が更に重要になる、と、強く感じています。来年度からは第2次総合計画に基づく評価が始まると思いますので、新たな気持ちで行政評価に臨んでいただきたいと思います。

さぬき市行政評価委員会
委員長 長山 貴之

事務事業評価結果項目一覧表

No.	事業名	拡充	現状維持	要改善	抜本的見直し	統合廃止
1	地域支え合い体制づくり事業		○			
2	病児・病後児保育事業		○			
3	米政策改革支援事業			○		
4	バスストップ駐車場管理事業	○				
5	遠距離通学児童生徒支援事業		○			
6	雨滝自然科学館事業			○		
7	社会体育施設管理事業			○		
8	防犯環境整備事業		○			
9	隣保館運営事業		○			
10	ホームページ管理運営事業			○		
11	総務管理事務事業(文書管理事業関係)		○			
12	定住促進事業	○				
合計		2	6	4	0	0

個別事業に対する評価

事業名	地域支え合い体制づくり事業
担当部署名	健康福祉部 福祉総務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>現在、本事業の主な内容は、さぬき市地域防災計画に基づき、災害発生時の避難支援や安否確認及び平常時の地域の見守りや支え合い活動につながる「避難行動要支援者名簿」を作成し、その名簿の管理・更新を行うものとなっている。個人情報保護の観点から、避難行動要支援者名簿は、慎重に取扱うべきものではあるが、災害時の人命救助に真に役立たせることが最重要であるため、総務部総務課危機管理室や民生委員・児童委員等の関係機関と連携して、名簿活用に関する更なる検討を行うとともに、情報提供同意者の割合を増やすための啓発活動も進めていただきたい。</p>

事業名	病児・病後児保育事業
担当部署名	健康福祉部 子育て支援課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、子育て支援の観点からも必要性の高い事業であり、さぬき市民病院と連携した運営は、有効性も高いと感じられる。しかしながら、延べ利用人数と実利用人数の推移から見ると、本事業の存在を知っている特定の者の利用にとどまっているようにも感じられることから、子育て支援課と市民病院が協力して本事業の更なるPRを行うとともに、病後児保育については特に、対象者の拡大(年齢等)について検討いただきたい。</p> <p>また、事業のレベルアップを目指し、利用者アンケートの実施等によってニーズを把握し、サービス向上を図ってはいかがか。</p>

事業名	米政策改革支援事業
担当部署名	建設経済部 農林水産課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>国の農業施策が大きな転換期を迎えているとの認識の下、様々な農業活性化支援施策に取り組まれていることは感じられたが、国の転換内容が本市にどのような影響を及ぼすのかを分析しながら、本市の農業政策の方向性を明らかにした上で、予算の重点化に努めていただきたい。</p> <p>また、本事業内で予算化されている産地育成強化推進事業について、振興作物の生産支援に対するJAへの助成額が、作付面積や出荷重量から算出する方法でよいのか再検討いただくとともに、産地育成強化への取組成果を市民が感じられるよう、更なる事業改善をお願いしたい。</p>

事業名	バスストップ駐車場管理事業
担当部署名	建設経済部 都市計画課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>市内2か所の高速バスストップに併設する駐車場の利用率は、志度駐車場で90%、津田駐車場で70%を超え、市民ニーズの高さがうかがえる。CO2削減等の観点から、高速バスの更なる利用の向上に向けた駐車区画の拡充の必要性は理解できるが、特に志度駐車場では、高速バスの利用を伴わない長期の駐車も見受けられることから、まずは、簡易な利用者調査を定期的に行い、目的外駐車を無くす努力を行っていただきたい。そして、費用対効果を考えながら高速バス会社等関係機関と連携して駐車場の拡充事業に取り組むとともに、必要に応じて有料化の検討を行ってはいかがか。</p> <p>なお、津田駐車場については、下り車線側の拡充を検討いただきたい。</p>

事業名	遠距離通学児童生徒支援事業
担当部署名	教育委員会事務局 教育総務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、さぬき市学校再編計画に基づく学校統合により、遠距離通学になった児童・生徒の通学を支援するためのスクールバスの運行を行うものであり、事業の必要性は十分に感じられる。しかしながら、効率的に事業を実施するためには、児童・生徒の乗車人数に合わせた柔軟な対応が必要であることから、運行ルートの見直しを適宜行うとともに、乗車人数に応じた適切な車両を選択するなど、安全運行を第一に考えながらも、委託料等のコスト削減に努められたい。</p> <p>なお、少人数の場合は、タクシー利用についても検討してはいかがか。</p>

事業名	雨滝自然科学館事業
担当部署名	教育委員会事務局 生涯学習課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>本施設は、世界最古のナマズ科化石の発掘地層の前に立地している非常に貴重な施設である。当面の間は大規模な修繕は不要であり、施設の有効活用が期待されることから、より一層の来館者増加を目指し、魅力的な企画展の実施とPRの強化に努めていただきたい。特に、遠方の市内小・中学校には、必要に応じてスクールバスを配車するなど、市内の児童・生徒の来館を増やす取組を行ってはいかがか。</p> <p>なお、建物の大規模修繕が必要となる時期を見据えた長期的課題として、保管資料の県施設等への移管も視野に、施設の管理運営方法の見直しを検討すべきと思われる。</p>

事業名	社会体育施設管理事業
担当部署名	教育委員会事務局 生涯学習課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>現在、公共施設のあり方検討委員会において、市内公共施設の再編整備に係る検討が進んでいるところである。本事業で維持管理に努めている12の社会体育施設についても、旧町からの引き継ぎ施設であるため、年間利用者数や、市域内での種目バランスを考慮しない施設配置となっていることから、中長期的視野に立った、バランスのよい再編整備に努めていただきたい。</p> <p>また、利用可能施設においては、スポーツを通じた活気あるまちづくりを目指して、利用者増加に努めていただきたい。</p>

事業名	防犯環境整備事業
担当部署名	市民部 生活環境課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、防犯灯の新設及び維持管理を行う事業であり、安全・安心のまちづくりに寄与する重要な事業と思われる。予算等の関係から、現在は自治会要望に応えるのみとなっているようだが、防犯対策はもとより、災害時の夜間避難を安全に行うための避難誘導等の役割も担った照明を、総務部総務課危機管理室等と連携して設置する必要もあるのではないかと。</p> <p>また、防犯灯の電気代や、維持管理に係る市職員の人件費の削減効果が見込めるとともに、まとめて設置することで設置単価の抑制も期待できることから、数年間に渡る計画的な LED 照明への変更を検討してはどうか。</p>

事業名	隣保館運営事業
担当部署名	市民部 人権推進課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>隣保館は、人権・同和教育の拠点施設であり、福祉の向上や人権啓発のための住民交流を図るための重要な施設である。平成25年に実施した市民意識調査では、42%の市民が身元調査は必要であるという結果も出ていることから、地域社会に開かれたコミュニティセンターとしての役割を、なお一層高めていただきたい。このためには新しい企画事業も必要だと思えるので、既存事業も含めて内容を再検討いただき、あわせて運営経費の節減にも努めていただきたい。</p> <p>また、隣保館旧館については、事業実施に係る備品倉庫等として活用しているものの、老朽化に伴う大規模修繕等が見込まれる場合は、撤去を検討いただきたい。</p>

事業名	ホームページ管理運営事業
担当部署名	総務部 秘書広報課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>人口減少が進む中、自治体のあらゆる情報を広く発信することの重要性は高まる一方であり、全国的に見れば、広報紙やホームページはもとより、フェイスブックやツイッターを活用するなど、ICTの発展に対応した更新頻度の高い広報活動を行っている自治体もある。現在の職員配置状況と予算では、今以上に広報力を高めることは極めて難しいと考えるので、本市の特徴であるコミュニティ放送の番組制作班等と連携しながら、市の広報戦略を早急に考え、必要予算を確保し、改善に努めていただきたい。</p> <p>なお、市ホームページにおいては、市民向け・市外在住者向けなど、利用者の立場に立った、検索しやすく、インパクトのあるコンテンツづくりも必要ではないか。</p>

事業名	総務管理事務事業(文書管理事業関係)
担当部署名	総務部 総務課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>行政情報の適切な管理は、市民への説明責任を果たすためにも重要な業務である。保管スペースの縮減、検索時間の短縮、破損防止等のメリットから、今後ますます電子媒体での情報保管は進むことが予想される。しかしながら、重要な決裁行為等が紙媒体で行われている以上、紙媒体での情報保管はなくなり、よって、紙資料の作成も継続されることから、経費縮減はもとより、環境保全のためにも、コピー用紙の使用量を減らすことを全職員が心がけ、実践いただくことを期待する。</p> <p>なお、総務部総務課においては、市長部局だけではなく、関係機関にも働きかけ、定期的に関係機関に開催する各種会議等におけるペーパーレス化や郵送料の縮減に繋がる取組を推進していただきたい。</p>

事業名	定住促進事業
担当部署名	総務部 政策課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>人口減少が進む本市において、転出抑制と転入促進を担う本事業は、社会減を縮小するための重要な役割を担っていることから、なお一層の取組強化を期待するところである。特に、少子高齢化に立ち向かうためには、20歳代の定住者を増やすことは重要であると考えられるため、地元大学に通う学生や、雇用・労働の所管課等と連携しながら、まずは、県内大学に通う学生の定住と、都市部に進学した者を呼び戻すための施策を検討してみたい。</p> <p>また、各種奨励金事業については、費用対効果を定期的に検証し、バラマキ施策と非難されないよう注意いただきたい。</p>

さぬき市行政評価委員

委員長	長山 貴之
副委員長	鈴木 珠美
委員	植村 信子
委員	工藤 衛一
委員	千田 彰一
委員	津村 肇
委員	奈良 正史

平成27年度さぬき市行政評価委員会開催経過

○第1回行政評価委員会

日 時 平成27年5月28日(木) 10時00分～
場 所 さぬき市役所第2委員会室
内 容 平成27年度事務事業外部評価について 等

○第2回行政評価委員会

日 時 平成27年8月25日(火) 13時30分～
場 所 さぬき市役所203会議室
内 容 事務事業外部評価
(福祉総務課、子育て支援課、農林水産課、都市計画課)

○第3回行政評価委員会

日 時 平成27年9月16日(水) 13時30分～
場 所 さぬき市役所301会議室
内 容 事務事業外部評価
(教育総務課、生涯学習、生活環境課)

○第4回行政評価委員会

日 時 平成27年10月22日(木) 18時00分～
場 所 さぬき市役所附属棟多目的室
内 容 事務事業外部評価
(人権推進課、秘書広報課、総務課、政策課)

○第5回行政評価委員会

日 時 平成27年11月12日(木) 13時30分～
場 所 さぬき市役所第2委員会室
内 容 報告内容の協議